

【コメント】

台風10号への対応について

【発表項目】

令和6年度熊本県総合防災訓練の概要について

県庁プロムナードの活用推進について

台風10号への対応について

- ◇ 8月28日（水）13時39分に県災害警戒本部を設置
 - ▶ 本庁・出先機関合わせて約140名体制で対応
- ◇ 同日16時に第1回県災害警戒本部会議を開催
 - ▶ 明るいうちの早めの避難を呼びかけ
 - ▶ 市町村や関係機関と連携し、避難体制構築等を実施
- ◇ 被害等の情報（令和6年9月4日時点）
 - 人的被害：6件（軽傷）、住家被害：6件（人的被害なし）、住民孤立：1件（徒歩での通行可能）

R6県総合防災訓練の概要について

【訓練の狙い】

◇地震への備えや津波避難の重要性を再認識

熊本地震から8年 → 日奈久断層への備え

能登半島地震 → 「孤立地域」への対応

南海トラフ地震臨時情報 → 地震・津波への警戒



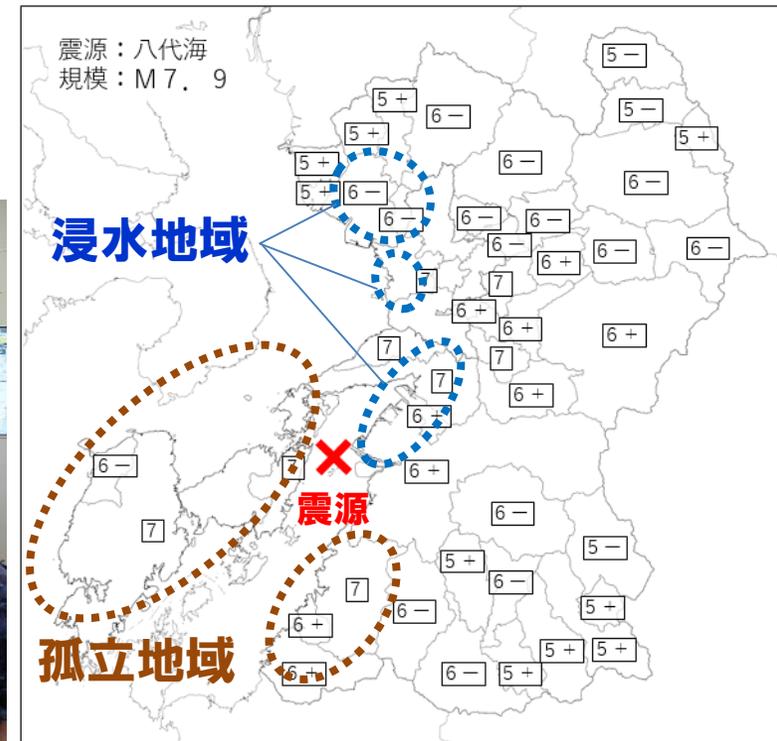
◇令和6年度県総合防災訓練のテーマ

「地震・津波への備え」 「天草・水俣地域の孤立」

R6県総合防災訓練の概要について

【図上訓練：10月5日（土）のポイント】

- 想定震源 **日奈久断層帯**（最大震度7）
- **沿岸14市町村**と初動対応の訓練
- 訓練シナリオは「**ブラインド型**」
- 首長WEB会議も実施
- 県内一斉の**シェイクアウト訓練**に加え、**住民避難訓練**も実施



＜写真：昨年度の訓練風景＞ ＜各地の震度及び被害想定＞

R6県総合防災訓練の概要について

【実動訓練：12月19日（木）】のポイント

孤立地域への「救助チーム投入」や

「物資供給」を想定した訓練

- ① **苓北火力発電所**の大型岸壁を初めて使用
- ② **海上自衛隊の大型輸送艦**が本県訓練に初めて参加
- ③ **ホバークラフト艇**によるビーチへの車両上陸
- ④ **緊急車両のヘリでの輸送**



＜実動訓練の実施イメージ＞

R 6 県総合防災訓練の概要について

【訓練参加者】※例年約 1, 000 名が訓練に参加

〔市町村〕沿岸 14 市町

荒尾市、長洲町、玉名市、熊本市、宇土市、
宇城市、氷川町、八代市、芦北町、津奈木町、
水俣市、上天草市、苓北町、天草市

〔関係機関〕自衛隊、警察、消防、電力・通信事業者
など 70 機関程度

県庁プロムナードの活用推進について

- ◆ 趣旨：観光客等が多く訪れるプロムナードにおける、イベントの充実を通じたさらなる賑わいの創出
- ◆ 対象：県が主催・共催・後援するイベント
- ◆ 使用可能日：原則として土日祝日
- ◆ 使用可能面積：1,000m²～4,500m²
- ◆ R6年度使用料：日額約8,300円/1,000m²

物品販売や
飲食物の提供
OK！



障がい者福祉施設商品展示・商談会



ルフィ誕生日イベント



ライトアップコンサート